

宮城県リハビリテーション支援センターです。

◎私たちの施設の特徴◎

- ・当センターは、障害者更生相談所、障害者専門クリニック、地域リハビリテーション支援の3つの機能に加え、宮城県高次脳機能障害者支援事業の支援拠点の役割を担う機関で、平成25年4月に名取市美田園に移転しました。
- ・外来リハビリテーションにおいては、専門医2名、看護師3名、理学療法士2名、作業療法士2名等の多職種が連携し、障害の構造を整理することで、二次障害を予防し、生活の質を高めることを目指した専門的取組をしています。また、障害のある方を対象に、病気の早期発見と二次障害の予防等を行い、障害者福祉の増進を図るため、障害者検診を実施しています（5月から12月の第2水曜日・第4金曜日、予約制）。
- ・身体障害支援班では身体障害者手帳の交付、補装具の判定・相談等を、知的障害支援班では療育手帳の交付、知的障害の方への相談・判定を行っています。
- ・リハビリテーション支援班では地域リハビリテーションの推進を目的に、研修会の開催やマニュアル等の作成、高次脳機能障害の相談・支援等を行っています。



センター外観



補装具判定・相談

障害者クリニック

＜リハビリテーションに関する連絡先＞

宮城県リハビリテーション支援センター

住所：〒981-1217 名取市美田園 2-1-4

電話：022-784-3587（代表） / ファクシミリ：022-784-3593

岩沼
地区

リハビリネットワーク通信 第15号

（平成30年4月発行）

発行元：
宮城県仙台保健福祉事務所
健康づくり支援班
022-363-5503（直通）

Qにお答えします

Q. 補装具の判定で、気を付けていることや工夫していることを教えてください。

（静和園）

A. 身体状況はもちろんのこと、使用環境や使用目的も確認し、一人一人に適切な補装具が作製されるよう心掛けています。

バトンでつなごう

一問一答 ～紹介リレー～



次回：訪問看護ステーションすぽっと
さんへバトンタッチ

●質問コーナー●

Q. 生活支援で工夫していることを教えてください。

リハビリ川柳

「リハビリへ 通う私に 笑顔の花」（外来患者様）

【解説】リハビリをするために、がんばって来る自分へ療法士さんの笑顔がいつも嬉しい。

「くしゃみ出る いよいよ春だ 花粉症」（理学療法士）

【解説】花粉症の患者さんが、鼻がむずむず、くしゃみも出始まったことで春の訪れを感じる・・・と。なるほど・・・と納得。

「終わりますよ その一言で 笑顔満開」（理学療法士）

【解説】リハビリ中は、あまり表情を変えない方に「訓練、終わりますよ」と声を掛けると、その日一番のほっこり笑顔を見せて下さいます。